

美術館主催展

第30回九州産業大学美術館所蔵品展

face — 表情を想う —

4月1日(木) - 5月23日(日)



高田博厚《ロマン・ロラン》1961年

芸術家が表現した顔に着目し、所蔵品の中から自画像・肖像写真・頭像など、顔が登場する作品を展示します。作品にまつわるエピソードや、芸術家が作品に込めた思いとともに所蔵品を紹介いたします。

よみがえる沖縄1935

6月5日(土) - 7月25日(日)



《那覇一糸満間の9キロを走った【軌道馬車】》



《サトウキビ畑の少年》

今から86年前、1935年の沖縄の日常を捉えた貴重な写真の展覧会。2015年に朝日新聞大阪本社で発見された多数のネガから約100点(一部カラー化)を展示します。あわせて、当館所蔵の芭蕉布や紅型などの沖縄の染織作品なども紹介します。

共催：朝日新聞社・沖縄タイムス社

第31回九州産業大学美術館所蔵品展

人間国宝展 一人・もの・技術から見る陶芸一

9月11日(土) - 10月17日(日)



福島善三《鉄樹掛分鉢》2001年

所蔵する工芸作品の中から、井上萬二、十三代今泉今右衛門、中島宏、福島善三など九州ゆかりの人間国宝(重要無形文化財の保持者)による陶芸作品を中心に展示します。人間国宝の作品をさまざまな視点から紹介し、その魅力に迫ります。

主な所蔵作品

- 絵画・素描** 古賀春江、田崎廣助、坂本善三、鳥海青児、萩太郎、山口長男、鴨居玲 など
- 版画** パブロ・ピカソ、レンブラント・ファン・レイン、アンリ・マティス、坂本繁二郎、熊谷守一 など
- 彫刻** 高田博厚、豊福知徳、西常雄、原田新八郎、安永良徳、植木茂 など
- 工芸** 十四代・十五代酒井田柿右衛門、北村武資、小川規三郎、角谷一圭 など
- デザイン** ハンス・J・ウェグナー、マルト・スタム、オットー・ワグナー、柳宗理 など
- 写真** 植田正治、林忠彦、奈良原一高、上野彦馬、細江英公、江成常夫 など

[順不同]

その他の展示

九州産業大学創立60周年記念特別展
酒井田柿右衛門 × 九州産業大学 = MIRAI

10月30日(土) - 11月21日(日)



《色絵花鳥文皿》17世紀後半

本学と縁の深い酒井田柿右衛門について、本学での研究成果とともに振り返る展覧会。古陶磁から近現代の酒井田柿右衛門作品まで、これまで多角的に研究してきた柿右衛門様式磁器の研究成果とともに柿右衛門の歴史についても紹介します。

塚本洋守教授退任記念展

11月27日(土) - 12月5日(日)



塚本洋守《カタグルマ》2010年

塚本洋守芸術学部教授退任記念展。彫刻家として45年におよぶ活動の足跡を、在任初期から最新作まで大作小品含め約30点を展示します。

第51回 立玄展

12月11日(土) - 12月19日(日)

芸術表現学科・大学院美術領域の教職員による研究発表展。絵画・立体造形・メディア芸術・工芸作品など、幅広いジャンルの作品を展示します。

九州・沖縄版画プロジェクト2021

2022年1月7日(金) - 1月13日(木)

九州・沖縄の作家と教員、大学生・高校生が参加する版画展。

九州産業大学

芸術学部卒業制作展・芸術研究科修士制作展

2022年1月下旬 - 2月予定

学内各所を会場に開催する2021年度卒業・修了の大学生・大学院生の制作作品展。美術館では大学院芸術科修士制作作品を展示します。

古本元治教授退任記念展 + 〈羽ばたいた作家達〉

2022年3月5日(土) - 3月13日(日)



古本元治《庭より》2016年

古本元治芸術学部教授退任記念展。画業40年の足跡を、初期から最新作まで大作小品を含む約30点を展示します。また、アートシーンで活躍している卒業生達の作品も展示します。

美術館でのマナー

美術館利用にあたっていくつかの注意事項があります。マナーを守って楽しく鑑賞しましょう。

- 作品に手を触れないでください。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。
- 入り口横に傘立てがございます。ご利用ください。
- 携帯電話の電源は切る、またはマナーモードに設定してください。
- 館内は撮影禁止です。ご了承ください。
- 大きな音をたてないようにお願いします。
- 走り回る等の行為を禁止しております。
- ペットを連れて来館は出来ません。
- 鉛筆以外の筆記用具でのメモはご遠慮ください。作品を傷つける恐れがあります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、手指の消毒、検温にご協力ください。